

＋．＋

# 2001 都市環境デザインモニターメッセ

実施結果報告書

2001年9月

＋．＋

都市環境デザイン会議



## はじめに

本報告書は都市環境デザイン会議（JUDI）主催の「2001都市環境デザインモニターメッセ」の実施成果を記録集としてまとめたものです。

都市環境デザイン会議（JUDI）の定時総会にあわせ実施して参りました「モニターメッセ」も今年で9年目をむかえ、ここに報告書をお届けする事ができたことに対して、参加企業の皆様を初め、協力いただいた関係者の方々に改めてお礼を申し上げます。

今年も10分と、20分の枠で実施しましたが、特に3年目となる20分枠のプレゼンテーションで、参加企業から商品である材料や施設、画像ソフト等の技術的特性の説明だけではなく、商品開発で対象としたマーケット（行政や民間事業者、あるいは、設計者や施工者等）が求めていると想定された環境デザインに対する理念や計画・設計の方法論に触れる部分が多く見られ、それが、ホットな議論を引き起こしました。“人にやさしい” “エコロジーに配慮した” “周辺環境に調和した” “ユニバーサルデザイン” “バーチャルリアリティ”等の言葉は、よく使われるようになったのに比してまだ恣意的であったり、意味するところと離れて安易に使われることが多い面を持っています。私達、計画や設計に携わる専門家にとっても慎重に扱うべき難しい言葉であります。

議論で提起された意見やアンケート表の記入の一部が、共にこれらの言葉の意味を深めてより質の高い都市環境づくりをしていこうという刺激になり、参加企業の皆様がこれからも理念やコンセプトを熟慮しながら商品開発を進めていかれることを希望いたします。商品の真のエンドユーザーは市民であり、商品がその活動の場となる都市環境の形成を進める道具になったり、都市環境を構成する部品になると実感することによって、様々な言葉が具体的な存在感を持ってくると考えます。今回のメッセは、この点で、企業の皆様が、私達会員と問題意識を共有し、協働していける出発点になったのではないかと自負しております。

もちろん、数多くの新しい技術のプレゼンテーションを興味深く見せていただきました。問題意識の交流へと進んできたことが、更に、合理的で質の高い技術の開発を促すことを期待しつつ、ささやかではありますが、この報告書が、新しい変革の時代に向かって企業活動を進めておられる皆様に、少しでもお役に立つことがあるようにと願っております。

2001年9月

都市環境デザイン会議・事業委員会

モニターメッセ 担当 井上 正良

（アーバンデザインコンサルタント・代表）

## 目 次

はじめに

1. 開催概要	2
2. レビュースケジュール	3
3. 発表・アンケート報告（発表順）	
アイエルピー株式会社	4
小糸工業株式会社	6
株式会社 I N A X	8
株式会社住軽日軽エンジニアリング	10
株式会社コトブキ	12
日本興業株式会社	14
積水樹脂株式会社	16
伊藤鉄工株式会社	18
株式会社因幡電機製作所	20
ヨシモトポール株式会社	22
岩崎電気株式会社	24
鹿島建設株式会社	26
松下電工株式会社	28
4. 参加会員リスト	30

\*\*\*\*\*  
 \*\*\*\*\*  
 \*\*\* 2001 \*\*\*  
 \*\*\* 都市環境デザイン \*\*\*  
 \*\*\* モニターメッセ \*\*\*  
 \*\*\*  
 \*\*\*\*\*  
 \*\*\*\*\*  
 \*\*\*\*\*  
 \*\*\*\*\*  
 \*\*\*\*\*

開催の主旨

これまで都市環境デザイン会議（JUDI）の定時総会にあわせ「都市環境デザインモニターメッセ」の場を設定し、多くの製品、技術開発事例等のプレゼンテーション、モニター批評等を行ってまいりました。過去8回の「都市環境デザインモニターメッセ」を開催してきました。発表された製品等も130例以上に上ります。

新技術開発、新製品等の発表と、モニターメッセ・レビューとして実施事例、改良事例の報告、の2種類の発表形式の枠を設けました。モニター側とプレゼンテーション側の意見交換、交流の場としたいと存じます。

開催にあたって

この十数年来、わが国においては魅力ある都市空間を創造する様々な取り組みがなされてきております。多くの公的機関や都市環境にかかわる企業において、都市景観を美しく、またうるおいのあるものにするための活動が行われています。

「都市環境デザイン会議」は、都市の環境をより良いものとするために、分野の違いを越えて積極的にこれに関与したいと考える人たちの集まりです。土木・建築・造園・デザイン・照明などの多岐にわたる分野、学会、行政、コンサルタント、設計事務所など多くの立場の人々の参加（今年1月1日現在で会員数522名）を得て、全国的な活動を行っております。これは、ひとえに皆様方のご理解、ご支援、ご努力によるものと深く感謝しております。

「都市環境デザインモニターメッセ」は会議の総会日にあわせ、1993年からはじめ、今年で9年目を数えます。本年度も、会議のメンバーが自ら社会的、専門的なモニターとなり、都市環境の開発、素材の供給、技術の開発などに関与される産業界の方々のご協力を得て、双方向型の情報交換の場として開催します。需要側の声、供給側の事情、取り組み方などの情報交換を活発に行う機会として、本メッセが良好な都市環境の形成に役立つことを願っております。

より豊かな都市創造と企業の発展に向けて、本活動の主旨にご理解いただき、積極的なご支援ご協力をお願いする次第です。

都市環境デザイン会議

開催概要

- 名 称：2001 都市環境デザインモニターメッセ
- 開催日時：2001年7月14日（土）  
 予定時間  
 15：45～18：45（モニターメッセ）  
 19：00～21：00（懇親会）
- 会 場：○モニターメッセ会場  
 東京・品川天王洲アイル東京MIビル  
 東京都品川区東品川2-2-4 TEL: 03-5462-4711  
 ○懇親会会場  
 第一ホテル東京シーフォート ハーバ-サーカ  
 東京都品川区東品川2-3-15 TEL: 03-5460-4411
- 主 催：都市環境デザイン会議  
 〒113-0033 東京都文京区本郷 2-35-10  
 TEL: 03-3812-6664
- 運 営：都市環境デザインモニターメッセ運営事務局  
 〒113-0034 東京都文京区湯島 4-2-1  
 TEL: 03-3816-5831 FAX: 03-3816-4249
- モニター：各省庁・自治体担当及び関係者・都市計画  
 コンサルタント・建築設計事務所・各種デザイナー・大学教授・建設業メーカー等  
 （以上、都市環境デザイン会議メンバー）

## 2001 都市環境デザインモニターメッセ スケジュール

15:35～ あいさつ

主旨説明	会社名	プレゼン担当者	タイトル
発表順 1 15:40～15:50 ○レビュー (10分)	アイエルピー (株)	高橋国彦	人と環境にやさしい保水性コンクリート平板
発表順 2 15:50～16:00 ○レビュー (10分)	小糸工業 (株)	藤田淳一 浅野英二	ビルトイン照明器具他のご提案 ～快適なバリアフリー空間形成のために
発表順 3 16:00～16:10 ○レビュー (10分)	(株) INAX	西田 幹 伊藤貞二	土系舗装材開発について
発表順 4 16:10～16:20 ○レビュー (10分)	(株) 住軽日軽エンジニアリング	渡辺和志	循環型社会に適応したアルミ構造物の紹介
発表順 5 16:20～16:30 ○レビュー (10分)	(株) コトブキ	小宅篤司 清水邦彦 大田哲二 藪本浩次 中尾 敦 小林大祐	バリアフリーバス待ちシェルター
発表順 6 16:30～16:40 ○レビュー (10分)	日本興業 (株)	三輪 藤田 藤谷	バリアフリーペイブとユニバーサルデザインによる空間提案
発表順 7 16:40～16:50 ○レビュー (10分)	積水樹脂 (株)	磯本真治 木許竜也 佐川就一	弾性車止め「リポロード」
発表順 8 16:50～17:00 ◎新作(レビュー枠10分) ※5分休憩	伊藤鉄工 (株)	篠崎謙一 瀬川文秀 斉藤新太郎 浅山茂樹 清水香代	壁面緑化システム
発表順 9 17:05～17:25 ◎新作 (20分)	(株) 因幡電機製作所	城戸太朗 北川秀基 水野 泰	照明と花の共演「花あかり」のご紹介
発表順 10 17:25～17:45 ◎新作 (20分)	ヨシモトポール (株)	海老原善郎 篠宮邦彦 飯島秀雄	畜産施設の環境への取組
発表順 11 17:45～18:05 ◎新作 (20分)	岩崎電気 (株)	大谷 根岸 叶 田中 佐藤	光応用に依る環境整備
発表順 12 18:05～18:25 ◎新作 (20分)	鹿島建設 (株)	柵瀬信夫 巧刀欣弥	ウェットコンクリート
発表順 13 18:25～18:45 ◎新作 (20分)	松下電工 (株)	村西耕爾 長濱龍一郎 田中範夫	Virtual Reality System 「まちづくり支援VRシステム」のご案内

18:45～ 講評

18:50～ 終了 懇親会へ

---

会社名 アイエルビー株式会社

---

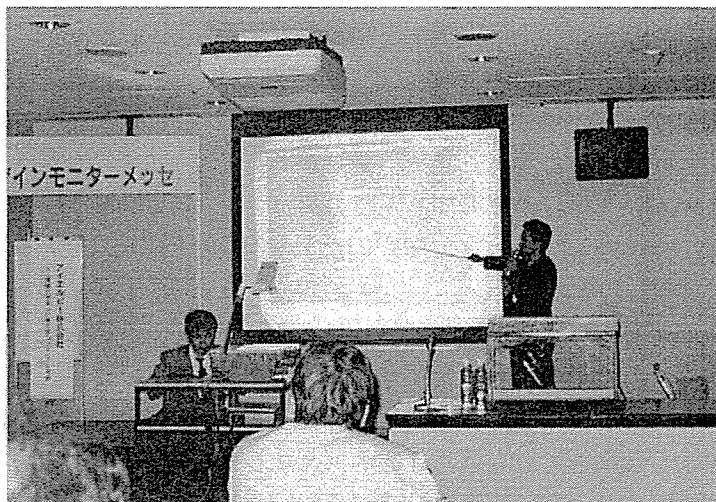
テーマ 人と環境にやさしい保水性コンクリート平板

所在地 〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-23弓町秩父ビル

TEL 03-3815-1711

FAX 03-3815-6448

プレゼン  
担当者 高橋国彦



---

#### ◆アンケート結果

- ・透水性より保水性の方が場所によっては、苔が生じないか。逆に緑化ブロック的に緑化促進に利用は。
- ・苔や汚れがつきやすいと思いますが、それをむしろエイジングデザインとして長所としていく行き方があるのではないのでしょうか。
- ・水対策では透水率、保水率などの物性、部位による形状等の違いがあり、ケース設定によるバラエティのあるラインアップを工夫してはどいかがですか。
- ・保水性の植生共存への有効利用（緑化ブロックなど）はぜひご検討頂きたい。
- ・緑化ウォール等への展開。
- ・苔とかカビが心配。そうなった場合の滑りや美観上の問題があるのではないか。使用箇所に注意が必要と思う。
- ・ILT、寒冷地、苔の問題。今後大変面白い商品になるであろう。
- ・建物外構に活用されやすいと思うが、そうすると、外壁材の動向に合わせた色彩がほしいと思う。  
(ex. もう少しY系に寄った色相)
- ・課題も多い。
- ・最近、塩カルをまいて雪をとかすがその影響は。一般のコンクリートは壊れやすい。
- ・都市空間のアスファルト化により、雨水の保水性が保持されない中で、タイムリーな商品と思われる。
- ・砂等による経時性能が少し心配。
- ・不透水層が周辺植生に与える影響。
- ・保水型と透水型の組み合わせ使用が必要。雨量や勾配との関係。
- ・保水型の長所の明確化（緑化、体感気温の低下）
- ・色の種類は6種類だけなのか。もう少し明度の低いものがあった方がいいのではないか。
- ・完全に水を吸収した状態から、どの程度の時間で乾燥するのか。
- ・厳寒地域対応製品の開発に期待したい。
- ・六価クロム、カドミウム等の溶出に関する安全性が確保されているとの説明文があるが、具体的説明を加えたパンフレット作りをお願いしたい。
- ・保水能力をオーバーした場合、透水するのではなく表面をフローすることになるのでは。

- 
- ・保水性能については寒冷地以外では有効と思いますが、ブロック舗装という施工法については、アスファルト舗装のようなものとは異なるか、何か施工を考慮した方法の開発が必要ではないか。つまり、保水性を活用した舗装材の施工法の開発が不可欠。
  - ・植生の進入可能性について長期実験をしてほしい。
  - ・飽和状態後の表面上部の帯水・表流水による問題は。
  - ・貯水量が満たされた場合、地球に還元される水の量は、透水ブロックより少ない。貯水機能と透水機能を持ったブロックにできればさらにベター。
  - ・常に保水性がある場合、雑菌の繁殖があるのではないか。
  - ・飽和状態から水分が蒸発するまでの間はどれくらいか。
  - ・路盤・路床のメンテナンス・構造について明確な説明（データ等）が欲しい。他社との比較など（方法、持ち、問題・・・）
  - ・サンプルがまわってこなかったのでよくわからないが、表面の素材感が少し人工的に見えるのではないか。
  - ・保水性を活用して緑との共存を図る仕様のもの考える。
  - ・フィルアップ後の浸透速度の確保を図って下層への浸透力を増す工夫がないものか。
  - ・どのような機能と組み合わせるか（メリットが活かせるか）を考えると面白い使い方ができそう。
  - ・公園設計において、調整池対応が問題になります。駐車場への調整効果が期待されます。緑化ウォールへの対応も是非。
  - ・特性をいかして利用法の検討が必要。
  - ・大変にユニークな発想でもって製品開発されていると思う。
  - ・植物との共生、共存の使用法の展開に期待する。
  - ・おもしろい。
  - ・緑化ブロック、マンション駐車場床（緑化）等の開発を。コストは限りなく低く。
  - ・逆に表面が透水、その下に保水という方がよいのではないのでしょうか。
  - ・表面の目づまり対策はどうなっているか。透水性の場合でも時間とともに目づまりが進行し、透水性が落ちてしまう。
  - ・苔というよりもカビが生えることを覚悟の方がよい。緑化ブロックの方がよい。これが完全に乾燥していても12mm以上の降雨の時にオーバーフローしないか。
  - ・土壌の下に利用するシステムとしての可能性を追求すると面白そう。
  - ・非常に興味深い製品である、大雨の時は大丈夫か。
  - ・寒冷地での使用は可能か。
  - ・保水性では苔の発生が心配。



---

会社名 小糸工業株式会社

---

テーマ ビルトイン照明器具他のご提案 ～快適なバリアフリー空間形成のために

所在地 〒108-8723 東京都港区高輪3-5-23

TEL 03-3443-9821

FAX 03-3445-7443

プレゼン  
担当者 藤田淳一 浅野英二



---

#### ◆アンケート結果

- ・ビルトインすると本体についてよりデザイン性が重要となる。
- ・ビルトインの結果、化粧的、寸法拡大等のデザイン上の問題が発生するが多い。
- ・デザインとしての寸法の調整、追求に美をはらって欲しい。
- ・すばらしい発想と思います。
- ・異業種間のデザインコーディネート頑張らないといけないような気がします。
- ・デザイン上もっと検討の余地あり。
- ・ビルトイン型というのは省スペース・シンプルデザインとしてはいい考え方だと思います。
- ・停留所では案内板・時刻表などの関係（サインを読みやすい照明）にも配慮したランプなど工夫をさらにしてください。荷物置き場は？ すわる場所もない。
- ・足元照明は近くの人に見えるが、防犯的な効果は疑問です。このあたりも考慮してください。
- ・LEDの照明の研究はしてますか。
- ・バリアフリー法に適合した商品化の取り組みは大変よい。
- ・身障者向けの白杖センサーや音声案内付足元灯のアイデア商品は有効。
- ・ライフサイクルの異なるものが同一のものにビルトインされることの問題。
- ・単品としてだと設置の自由度が低い（設置環境に合う、合わない）ユニットとしての方が汎用性が高いのでは。これだとデザインの質が求められることになる（西沢氏の発言につながる）
- ・一体化の思想はよい。しかしそのことによって不格好にならないよう配慮が必要。デザイナーとの協力が必要。
- ・音声システムは必要としている人にも案内するようにしたい。
- ・ビルトインという発想によって施設が集約されることはよい。個々に設置するより集約すると安くなるならさらによい。
- ・メンテナンスの容易性の確保に注力を。メンテナンスを請け負う発想はないか。
- ・ビルトインの発想は光・明かりという点では当然と考えるが、システムというためには光源（灯具）そのものの形態や接続・ジョイントのシステムが示されていない点が課題。
- ・バリアフリーもビルトインも最も必要とする場や施設を明確に示すことが必要。

- 
- ・当然の発想で新味を感じない。デザインに良さが少ない。JUDIのデザイナーに相談を。
  - ・ビルトインの発想は良いが、逆にそれによっていろいろな制約ができる可能性もあり、対象をしぼる必要もあるのでは。
  - ・「ポケベル、do-paでデータを送信」をもっと発展させたものを開発し、個々に合わせたその時々を受け入れる様になればよいと思う。
  - ・樹木の葉ばりとポールが物理的に共存できないのではないかと。発想は良いと思う。
  - ・ストリートファニチュアの乱立が少なくなるのは望ましいが、形の収まりがよくないように見える。
  - ・他社との共通性みたいなものがあることが21世紀型といえるのではないかと。業界としての対応を考えていて欲しいものである。自社製品の中でのビルトインだけではインパクトが低い。
  - ・照明の照らす方向の問題をうまく処理する必要があるのではないかと。デザイン的にもおもしろくできる可能性はある。
  - ・ストリートファニチュアの一体化、複合化による整理思考は大賛成。デザインがスッキリ型が良い。
  - ・コンパクト、シンプルに。
  - ・発想は大変おもしろいが最終的な姿を美しくつくるのが重要である。
  - ・ソーラー利用等を考えたかどうか。
  - ・全国に幅広く販売しているらしい。それだけに責任が重い。とすればデザインが悪すぎる。しっかりしたデザイナーを。
  - ・カタログ全般からの印象ではデザインのセンスが？と感じる。
  - ・組み合わせかえって乱雑にならないように。
  - ・乱立を避けるという視点は大変良い。しかし、後付はうまくできるのか。構造耐力と美観の問題をクリアしながら。
  - ・電源を一体化したビルトイン建材を指向してはどうでしょうか。
  - ・コンセプトは評価できるがデザインの質の向上に期待したい。
  - ・設置環境に応じた光源の選択は可能か。全て日色がよいわけではない。
  - ・デザインがもう一歩と感じる。

---

会社名 株式会社 I N A X

---

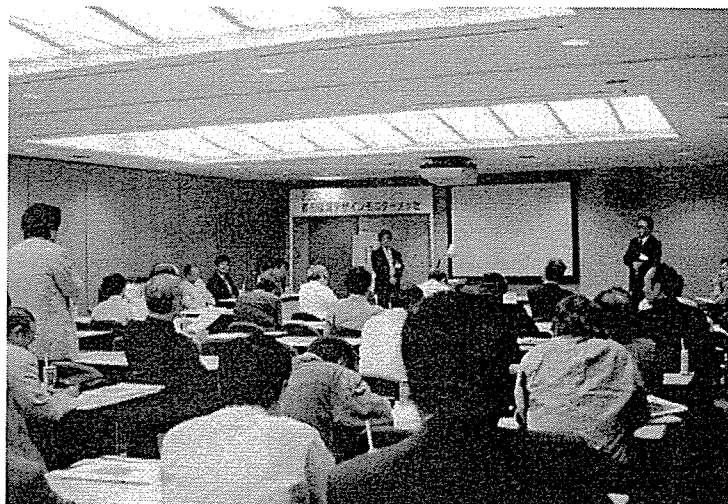
テーマ 土系舗装材開発について

所在地 〒104-0031 東京都中央区京橋3-6-18

TEL 03-5250-6558

FAX 03-5250-6551

プレゼン  
担当者 西田 幹 伊藤貞二



---

#### ◆アンケート結果

- ・素晴らしい。あらゆる地域に普及させてください。従ってコストもアスファルト並を目指して。
- ・衝撃に対する強度はどの程度か。それにより使用部分が限定されないか。
- ・はやく使ってみたい。
- ・耐久性及び耐摩耗性についていろいろ研究してください。期待しています。
- ・コストは7,000～10,000円/m<sup>2</sup>位なら可と思います。
- ・価格、場所について、種々問題がありそうである。
- ・年月がたつほど丈夫になるというのは、これまでにない考え方の工法として注目できる。でもどのくらいの交通量、t数に耐えるのか（公園内道路、ニュータウン内道路）
- ・興味ある工法です。
- ・土そのものを使った舗装材ということで、用途が限定するが、こういう分野を研究するスタンスは大変良い。
- ・有用に開発。
- ・使う場所が限られる。ターゲットをしぼるならアスファルトとの比較でなくて良い。
- ・耐水性、強度は。
- ・人の歩く部分、遊歩道など（河川の管理用通路を含む）に使えそう。5～6,000円/m<sup>2</sup>くらいか。
- ・材工共8,000円/m<sup>2</sup>
- ・6,000円/m<sup>2</sup>くらいにならないか。またこの素材の透水性、保水性はどの程度なのか。
- ・開発コンセプトは素晴らしい。ぜひ利用可能な土壌の種類を拡大してください。
- ・広く普及させるのであれば単価10,000円/m<sup>2</sup>前後かな。
- ・私は以前よりI N A Xさんにソイルセラミックの開発はブロック状ではなく、塗膜的な方法を開発すべき点と指摘していたが、やっと可能性がでてきたように思う。今後機会があれば試したい。
- ・独自の施工法の開発を期待。（適正の場所が性能上問題か）
- ・転圧をしない工法は不可能か。
- ・従来より地盤改良工事で昭和40年頃より生石灰工法はあり。道路にも利用されている。セメント系は生石灰より基本的には耐久性は良いはず。エジプトには現在のセメントと同じ水和物を持つ古代セメントが現

---

在でも残っている

- ・現地の土を使うとは、その景観に土地特有の色彩特長や風合いが生まれ、土だけではなく他の材料にもそのようなシステムができればよいと思う。これを機会にそのようなシステム自体を開発すべき。
- ・工事、施工中に雨が降った場合でも硬度的に大丈夫なのでしょうか。歴史的地区（舗装がない時代の）  
高齢者施設周辺 6,000 円 / m<sup>2</sup>
- ・大変おもしろい素材だと思う。伝統的町並みか、公園で使ってみたい。
- ・施工時の諸条件に左右されるのではないか。したがって、じっくり施工に時間がかけられる場合に推奨できることをはっきり謳ってほしい。短期決戦型の施工には向かないのでしょうか。高度な管理施工を必要とする  
ことで、やや高級な方法であることを示すためにも価格は少し高めに設定した方がよいのでは。
- ・省エネ・リサイクルという全体コンセプトと合わせて計画段階での売り物にしたい。
- ・たたきから発想された舗装工法については公園事業に最適です。
- ・ポーラス化、弾力性は。
- ・大変貴重な開発と思う。歴史的地区の道路の用途に広く使用可能。
- ・コストはアスファルト舗装に比べて4～5倍程度。
- ・強度に関してマウンテンバイク、スケートボード、ローラースケート等に耐えられるか。幼児が転んで擦り  
傷なしと、優しい路面になるだろうか。以上二点にOKだと大量に使われることまちがいない。マンション  
中庭、人工地盤など。
- ・大変興味がある。遊歩道に適している。コストはやはり 10,000 円 / m<sup>2</sup>以下でしょう。
- ・公園などの園路、交通量の少ない歩専道などに最適では。
- ・補修、補修が所持たらどうなるか。美観に問題は生じないか。高コストか。
- ・タイムリーな製品開発で可能性を感じる。ただし、施工性を柔軟に確保できないと利用できない。
- ・興味深い製品として期待したい。使用可能な場所：公園、歴史的地区、コスト：アスファルト舗装の3倍程  
度、滑り抵抗は。色はどの程度の幅があるのか。目地は。
- ・単価 7,000 円 / m<sup>2</sup>
- ・コスト：脱色アスコン程度

---

会社名 株式会社住軽日軽エンジニアリング

---

テーマ 循環型社会に適応したアルミ構造物の紹介

所在地 〒136-0071 東京都江東区亀戸2-35-13新永ビル

TEL 03-5628-8519

FAX 03-5628-8505

プレゼン  
担当者 渡辺和志



---

#### ◆アンケート結果

- ・様々な用途に可能性高い。
- ・アルミのみに頼らず、構造材には鉄を利用した方がどうしてもスマートになります。その面も重視した方がいかがでしょうか
- ・アルミは衝撃に弱いが梁材とするとき影響はないか。見本の構造では使用箇所が限定される。
- ・鋼コンクリート合成床板のかわりに使うとしてコストはどうか。
- ・コンクリートにかわる鉄筋等との接合は問題ないか。
- ・荷重条件の厳しい部分で十分使用可能と思います。ただしコスト面は高いのではないのでしょうか。
- ・メンテフリーの表現は良くない。
- ・人工地盤、ヘリポート、メンテナンスフリーに興味あり。
- ・今後、橋梁、デッキ等に多用されると思われます。(軽量、メンテナンスフリーの面で) 設計者にもっとわかりやすいデザインの可能性(形状の可否、大きさの限界、トラス形状など)あとコストは。
- ・高欄の再生地金で床板を作るアイデアに感動しました。
- ・循環型社会に比較的対応しやすいのはやはりアルミと思います。これからも頑張ってください。強度的には変わりはないのですか。
- ・さらなるアルミの用途開発を望みます。
- ・床板がアルミの場合、表面処理は、耐摩耗性は。
- ・従来、鋼材が利用されていた分野にリサイクルのきく材料に置き換えは大変良い。
- ・耐熱性等
- ・鋼板(鉄)等の下部との組み合わせは大丈夫か(絶縁体の必要性)
- ・他金属(特に鉄)と混在した場合のサビの問題は。
- ・橋梁に使えるとは思っていませんでした。使ってみたいです。
- ・価格がリーズナブルならば利用価値が高い。
- ・「リサイクルの容易性」に着目した点に賛意。
- ・リサイクルのための消費資源は、ライフサイクルアセスメント?

- 
- ・軽量、メンテナンスフリー等で使用する場合のメリットは十分にあるが、いつものことながら費用が問題になるので、昨今では特に企業努力が望まれる。
  - ・アルミ材のみで構造物とする視点は、-従前と変わらない、拡大指向と思う。
  - ・各々の素材の優劣を組み合わせ、補填する複合材としての開発を望む。つまり、コスト面、性能面を考えて無理な純アルミ製品・部材の開発はご注意を。
  - ・橋梁本体の構造材として大断面はできないか。(仮設用歩道橋等)
  - ・リサイクルによる製品化は非常によい。
  - ・コスト・施工性等は鋼材に比べてどうか。
  - ・アルミ構造物の場合、耐水性についていまだ未解決なところがあるので、半永久的な使用は如何なものか。
  - ・立体駐車場床に使えらと思う。海上、棧橋、住宅床、化粧矢板
  - ・アルミの冷たい表面色が変わえられないか。自然環境の中で冷たく見える。
  - ・構造材としての認定はどうなっているのか。私の知るかぎりでは過去建築センターでの審査を必要としたが、今でも同じだろうか。
  - ・価格面、生産に要する環境コスト低減の工夫。
  - ・アルミのリサイクル性能の高さをデザインのストーリー（以前～以後）として物語をつくるとおもしろい。
  - ・デッキ材の場合、下から見上げた時の美観に留意してほしい。
  - ・リサイクルとして適切か。
  - ・循環型社会に対応するとなっていたがどの点なのが不明。
  - ・アルミの軽量を活用する発想はよいがコストは不明。
  - ・歩道橋によさそう。ただしデザインを大切に。
  - ・コストが高いことが心配。
  - ・いまひとつよくわからなかった。それで本当に循環型の社会づくりに貢献できるのか。アルミもリサイクルできるということをいいたいのか。
  - ・ねらいがはっきりしないプレゼンテーションだった。
  - ・貴社製品のリサイクル率はどの程度か。今後の見通しは。

会社名 株式会社コトブキ

テーマ バリアフリーバス待ちシェルター

所在地 〒105-0013 東京都港区浜松町1-22-5住友生命浜松町ビル

TEL 03-3438-4531

FAX 03-5404-7267

プレゼン  
担当者 小宅篤司 清水邦彦  
大田哲二 藪本浩次  
中尾 敦 小林大祐



#### ◆アンケート結果

- ・デザインが野暮で好きになれません。特に屋根と梁が野暮ったい。
- ・景観にも楽しさが必要。何が不足か、または過剰なのかわからないが、楽しくないですね。理屈はわかるがそれだけではないことに留意を。
- ・ベンチの分離システム、屋根からの吊りシステム等も研究されたい（座る人の向きも考えて）
- ・デザインに少し癖があるように感じます。
- ・他社のストリートファニチュアは使用できない。もう少しシンプルなデザインとされた方が良かったと思います。
- ・マルチジョイント、メーカー間の互換性を追求すべきであろう。
- ・サインの文字サイズはもっと大きい方が視認性がいいと思います。現状は小さすぎます。
- ・路線図をわかりやすく（サインの専門家、地図の専門家と協働したほうがよい） ユニットという考え方はよい。照明はいらないのですか。もっと異なる業種と一緒に開発してください。
- ・バス停については特定業者が利権がらみで強いような話も聞いています。ご苦勞も多いと思いますが、景観向上のためにもこの様なデザインのバス停が増えることを期待します。
- ・ベンチ、手すりと不要な所にも部品をつけすぎ。
- ・バス待ちに特化して、身障者、高齢者等への配慮の手摺りやベンチの高さの可変等がよい。
- ・都市空間からモノを減らす工夫が欲しい。モノを増やす方向ではなく。
- ・デザイン的には繁雑な気がする。手摺りが多い。柱や、ビームをその代わりとすることも可能。高い。
- ・形態の工夫がむだとは言わないが、価格の上昇をまねいていないか。
- ・大半の人は乗り降りの手すりはバス自体についているのを使用すると思う。
- ・価格が高すぎないか。
- ・情報発信機能等、IT 関連技術との複合機能性を強めよ。
- ・コンポーネント化は進めるべきであり、製品のメニューを増やせばよいのでは。
- ・バリアフリーの観点、システムの観点、施工組立という観点からもジョイント方法、部材が問題では。できれば支持（構造部）は安心感のある大きさ・太さ・厚さを考えるべきで、ジョイントシステムも少し

---

強度的にギリギリに設定しすぎているように思う（場所や地域の広がり観点からも）

- ・各ユニットの値段が高すぎる。故に全体として組んだとき高い。
- ・直線部の突起物はユニバーサルデザインの観点から疑問あり。工夫が必要と思う。
- ・有事を考えたまちづくりは、もっとシステム化して発展させて考えるべき。
- ・屋根のデザインが悪い。木製があってもよい（表情として）
- ・バリアフリーはわかるが、手すりその他がうるさいのではないか。
- ・一社でコンポーネント化するだけでなく、業界としてコンポーネント化の研究実施することがこれから重要となると考えられる。デザインがやや重いような気がする。
- ・マルチコンポーネントと街路樹の組み合わせはおもしろくなりそうだ。
- ・手すり等の諸機能をコンポーネント化した上でデザインがスッキリしていて良い。今後、柱のキャップ等のディテールの質について注意。
- ・互換性は。
- ・メーカー全体としてのモデル化を進めていく必要がある（プロダクトシステム）
- ・バス停や駅前広場まで重要なアーバンデザイン要素であり、かつ、目立つ。動産としての自動車デザインではなく。不動産としてのデザインセンスが望まれる（要はデザインに不満）
- ・それなりに良いものだと思うけれど、やはり他のものとのなじみがどうか、気になります。
- ・屋根の幅をもう少し広く、また長さも長いもの、折れ曲がるもの（駅広用）も工夫してください。
- ・何がバリアフリーなのか、今ひとつわからない。バスに乗り降りするときのバリアとは何かをよく考えて欲しい。もっと抜本的に違うものはないのか。
- ・地域の情報センター的機能を付与できるシステムが必要ではないか（情報機器とのセット化が必要）
- ・考え方は評価できる。デザイン的な一体化が不十分な印象。駅広などでの応用は可能か（連続的な上屋との組み合わせなど）
- ・照明はついていないのですか。バスが近づくと「〇〇行きバスが来ました」というような案内ができるようなシステムが必要では。



---

会 社 名      日本興業株式会社

---

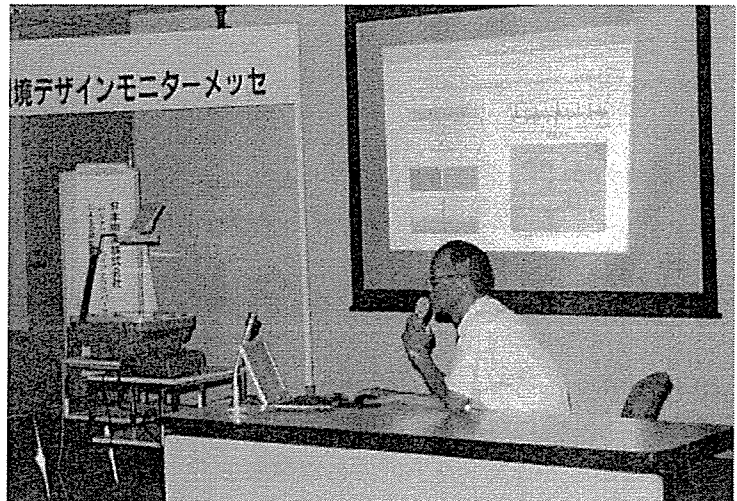
テ ー マ      バリアフリーペイブとユニバーサルデザインによる空間提案

所 在 地      〒760-0077 香川県大川郡志度町志度4614-13

TEL            087-894-1021

FAX            087-894-0490

プレゼン      三輪 藤田 藤谷  
担当者



---

#### ◆アンケート結果

- ・素晴らしい研究です。普及を期待します。
- ・機能、素材については良い。バリアフリーは？ 製品の良さはもっと幅広い。
- ・デザインとしてもっと良い事例をつくってください。パンフレットを見ても良いと思わない（きっと効果は良いと思われるが）
- ・ユニバーサルデザインの取り組み方に敬意を払います。ただし200モジュールで、平板モジュールとの汎用性を考えると300モジュール製品が欲しいと思います。
- ・ふち石に良いものがありそうである。
- ・ふち石、側溝用グレーチング、のりいれなど細かい部分の形状の工夫がよい。
- ・色のバリエーションにもう少し、黄色系バリエーションを増やしてください。
- ・ガタガタしないのは非常に良い。
- ・短い時間の中で今さら何故ユニバーサルデザインの説明か？ だからどうするのか。どんな商品に展開するのかにもう少し時間をさいて頂ければ良かったと思います。
- ・展示会で同製品を車椅子にのって体験したががたつきは少なかった。
- ・公共空間の歩道の現状をよく観察されて、一体型ブロック等によるユニバーサルデザイン化に熱心に取り組んでいると感心した。
- ・きめ細かい配慮に好感。
- ・補修（数枚破損の場合）の問題は。
- ・ユニバーサルデザインについての最初のパワーポイントの説明が良かった。その部分だけでも資料で欲しい。
- ・製品に工夫すればするほど他社製品が使いいいにくくなるように思える。
- ・よく工夫されている。開発者の取組として「外に出よう」というスローガンを利用させてもらいたい。
- ・価格値下げ努力をお願いしたい。
- ・低コストへの努力を。
- ・安全、快適、楽という観点を総合的に見ると、バリアフリーペイブの提案は最低要件であり、スポーツファニチュアに見る積極的な展開の中に新しい開発の可能性を感じるのですが、如何なものか。素材、形態、

---

性能という点からもバリアーの最少あるいは可能な状況設定を独自に基準を示すことも一系か。

- ・ 粉塵の堆積は起きないか。
- ・ 空間全体を考え種々の製品を考えている点評価できる。しかしバリアフリーペイブは割れが心配。特にポラスコンクリートではかえってかけが増加する可能性あり。また補修の点ははどう考えるのか。
- ・ 視点は良いと思う。
- ・ ローコストの商品提供をお願いします。
- ・ カタログでもバリアフリーペイブの色が少し強すぎるように思える。なぜ色を混ぜたものだけなのか。もっと穏やかなナチュラルな雰囲気がほしい。
- ・ 転倒に際しての安全性は、ひっかからないことの他にぶつかったときの衝突・衝撃がやわらげられるということも忘れないでほしい。
- ・ 円滑な走行、歩行だけでなく、転ぶことに対しても十分考えてほしいもの。植え込みの立ち上がりの角は丸くしてください。
- ・ 車椅子の電動化も進んでいるので、より一層振動に対するズレを少なくしてほしい。
- ・ バリアフリーだけでなく、国営公園等の大型公園のサイクリング道路舗装にも良いと思われる。
- ・ 普及をはかってコストを下げる必要がある。
- ・ 大変細かな点まで留意されて製品開発されている。
- ・ 一般に利用されるためにはコストの低廉化が必要である。
- ・ 単価をがんばってほしい。
- ・ カタログ色彩良くない（本当は良い）
- ・ やはりコストでしょうか。
- ・ コストダウンに努力してください。
- ・ 何がユニバーサルデザインか。歩車道の段差処理する縁石などを改良しないとほじまらない。車道を通ってきた車から降りて歩道に移ることを考えてない。
- ・ 読みとれない大きさのプレゼンは意味がない。前半はわかりきった説明だけであった。
- ・ 可能性のある製品である。舗装パターンデザイン例があまり良くない。
- ・ 説明資料の配付が必要。
- ・ 後方の席は見えない。
- ・ 良い。あとは価格のみ。
- ・ CAD は上手。

---

会 社 名 積水樹脂株式会社

---

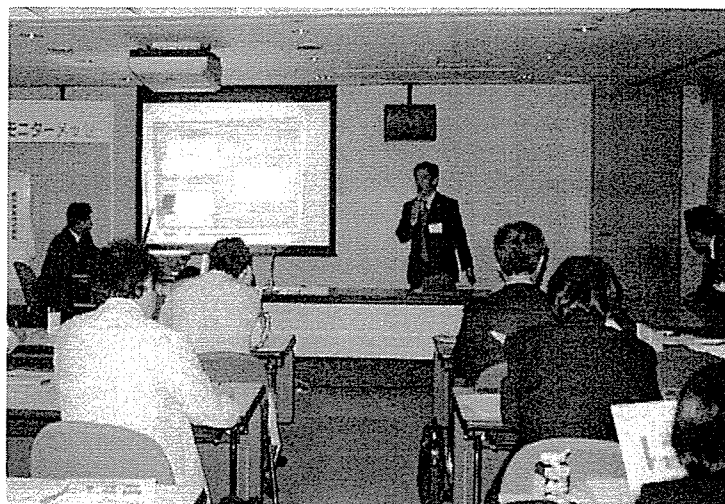
テ ー マ 弾性車止め「リボラード」

所 在 地 〒520-2596 滋賀県蒲生郡竜王町鏡731-1

TEL 0748-58-1394

FAX 0748-58-3092

プレゼン 磯本真治 木許竜也  
担当者 佐川就一



---

#### ◆アンケート結果

- ・中を太くした方が趣があるのではないのでしょうか。
- ・オレンジウッドはおもしろいと思う。
- ・リボラードは太さのバリエーションがあるとどうでしょうか。
- ・例えば固定式の場合、基礎方式にも工夫ができそうに思えるが。
- ・おもしろい素材とは思いますが、質感、色彩の面で少し抵抗感があります。紫外線によるゴムの劣化は問題ないのでしょうか。
- ・廃ゴム多いに利用すべきである。
- ・基本デザインだけに、もっとシンプルにできないのでしょうか。
- ・柔らかい弾性をうたう製品ならば、もっと太くて若干低めでいいのではないか。従来品と、形・サイズが変わる方が適応しい考え方だと思います。
- ・弾性の車止めの利点はわかるのですが、根元から折り切られてしまっているものを多く見かけます。何とかならないのでしょうか。ご検討をお願いします。
- ・車が歩道に乗り込んでしまった時は、人をどの程度保護するか。
- ・トラックタイヤの廃材利用と車止めの弾性化を結びつけたアイデアは大変良い。
- ・ヒット。
- ・黄色は？
- ・形の洗練が必要か。
- ・カタログの色をちゃんとしてほしい（チャイロ、グレイ同じに見える）ざらめをクローズアップして示したら色の違いがわかる。
- ・素材の耐久性はどの位か。
- ・夜間視認性を高めるための工夫が重装備、凝りすぎではないか。折角のリサイクル製品なのだから、単機能、単純構成材料でやった方がよいのでは。
- ・弾性車止めは賛成する。ただし、車道における車止めの場合には、歩行者が守れるか問題があるので、利用場所に注意しておくこと。

- 
- ・リサイクル性をもつものとしての提案は評価しますが、ゴム・樹脂という素材の成型加工、後処理について公害への配慮はいかがか。
  - ・樹脂だけで全ての部材・製品をつくることから他の素材や施工機能への展開へ。
  - ・樹脂なのに独自の構造、工法などの開発がないのが課題。
  - ・直立性の持続が難しいのではないか。球状等の形態は可能か。
  - ・廃材を使って弾性をつけた発想はよい。車が衝突したときの強度はどうなっているのか。
  - ・色はもう少し考慮の余地あり。
  - ・自発光タイプは割高。センサー付き自発光タイプは住宅にも使えるかもしれない。
  - ・ポラードについて具体的な安全性を説明したパンフレットをつくと効果が大きいと思う。どのくらいのやわらかさか、どこまでどういうふうに安全か。
  - ・夜、光りすぎない方がよいのではないか。
  - ・ポラードの弾性獲得のアイデアはよい。しかしポラードそのものが要らないような街の空間をつくるのが私たちの仕事としては重要。夜間発光については、もう少し柔らかい光の開発が要るように思う。
  - ・舗装材（リサイクル材）に合わせて使うとおもしろい（色は原色以外にあまり要らない）
  - ・開発姿勢、デザインともに良い。基本型が最良。あとは手触り感はどうか。
  - ・美しさに問題はないか。
  - ・廃材活用による製品開発の発想は大変良い。ただし、デザインの切れ味がない。
  - ・応用展開できそう（ポラードを低く太く、遊具を高く細く）
  - ・なかなかおもしろいと思う。ただセンサー組込みなど本当に必要でしょうか。それより安い方が。
  - ・もう少し高い（長い）ものも開発してください。
  - ・センサー付きは不要な感じがある。リサイクルの姿勢はよくわかる。
  - ・リサイクル素材の指向は可能性が高い。他の道路部材への利用を検討できないか。
  - ・リサイクル材料は評価できる。弾性機能が衝突強度を損なうことはないか。デザインは？（昼は反射体がうるさい）
  - ・デザイン性に難あり。
  - ・使える。

---

会社名 伊藤鉄工株式会社

---

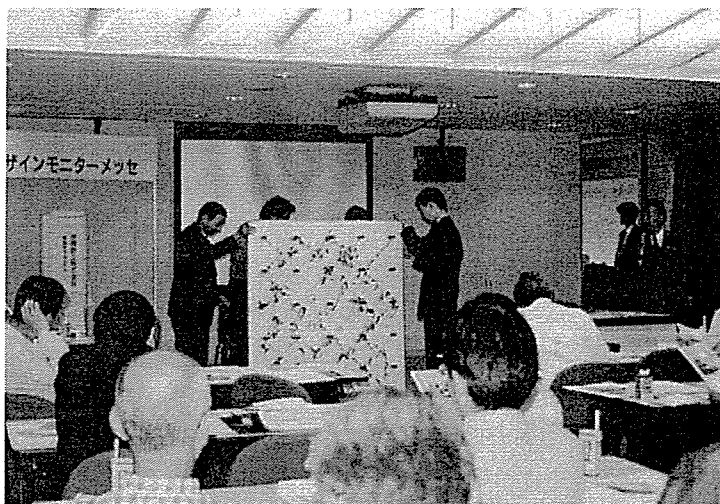
テーマ 壁面緑化システム

所在地 〒332-0015 埼玉県川口市川口6-3-14

TEL 048-258-3332

FAX 048-258-5560

プレゼン  
担当者 篠崎謙一 瀬川文秀  
斉藤新太郎 浅山茂樹  
清水香代



---

#### ◆アンケート結果

- ・研究の余地がいろいろありそう。
- ・ブラケットは大袈裟すぎるし、高い。もっと簡単な仕組みも素材も開発すべきと思う。
- ・既にあるメッシュシステムの方がよいと思う（目が細かい方がよい）
- ・少し値段が高いと思います。アルミではなくSUSとする方が細くなるし、電食の問題もなくなると思います。
- ・グリーンの色は非常に派手で変でしょう。再考した方がいいと思います。
- ・あまり目新しさを感じないが、どこが貴社の売りですか。「ドラえもん」のアイデアは都市景観にはどうかと思います。本気だとは思いませんが、そうだとしたら再考を望みます。
- ・建築物より土木構造物の方に応用が広がるのでは。
- ・単なるアルミ板とステンレスワイヤーの組み合わせだけの商品は日曜大工の範囲か。
- ・壁面をいためないことが基本。
- ・パンフレットのCGは見栄えが悪い。
- ・システムが単純なのでいろんなバリエーションが考えられる。シンプルでシャープな目立たないデザインが大切。
- ・ワイヤーよりもネットフェンスの方が簡単ではないか。逆にバスシェルター等にユニット化したパネルを用意してみてもどうか。
- ・ソーラーガーデンライト、6色も揃える必要なし。街並みがさわがしくなる要素である。
- ・多様な場所で使えると思う。ロープと構造とに関連があるのかな。育成の面で。
- ・植物、壁の力、必要なボリュームなどを考えると、壁面での施工性を考えてワイヤーのメッシュや植物のからみ方を研究すべき。
- ・ワイヤーそのものの素材、構造で特徴がないと問題ではないか。
- ・植物に関する理解をどれくらい持っているのか。
- ・省エネルギー（屋内温度調節）の観点からデータをとり、提案営業したらよいと思う。
- ・ワイヤーが細かい方が、もしつる草が枯れた場合も景観的にもましではないか。グリーンの留め具が大きすぎて気になる。

- 
- ・緑化と避難用を兼用できるとおもしろい商品展開。例えば建物の壁面とかに使って避難用具としても使え  
ると値段が高くて使おうと出てくるかも。緑化は安くないとだめ。
  - ・色がうるさい。光りものではないほうがよい。
  - ・私たちとしてはステンレスワイヤーメッシュの良いものがほしい。アンカリングはこんな密度で行う必要  
はない。ある程度構造的に安定し平面形成型だけでなく、曲面型のワイヤーメッシュあるいは線材メッシュ  
を開発してください。
  - ・商業系の壁面緑化には向いているかもしれない。
  - ・裏にかくれるデザインを。日陰棚向きにも展開を。
  - ・緑化システムとはいえない。
  - ・植物の種類と工夫。シェルター的な活用が望まれる。
  - ・立体駐車場の壁面緑化、最上階のカバーを是非開発してください。(問題は駐車場の認定条件との関係を解  
く必要がある)
  - ・ブラケットが目立ちすぎだと思います。ライトについてはちょっとデザインが変な感じ。
  - ・覆いにも利用できるように。ヨーロッパにはツタでつくった屋根のあるレストランも多い。
  - ・ビスブラケットがうるさい、それにこれでは大きい。きっとワイヤーメッシュの方がおもしろい。
  - ・パンフレットが魅力的でない。ブラケット部分(含、特定部分パネル)に植生するような工夫ができれば、自由な屋外緑化に役立つのではないか。
  - ・もう少し自然な緑化方法も必要なのでは。
  - ・本当につる草は巻き付いてくれるのか。実験は行ったのか。

---

会社名 株式会社因幡電機製作所

---

テーマ 照明と花の共演「花あかり」のご紹介

所在地 〒550-0012 大阪府大阪市西区立売堀3-1-1大阪トヨタビル

TEL 06-6532-2302

FAX 06-6532-2304

プレゼン 城戸太郎 北川秀基  
担当者 水野 泰



---

#### ◆アンケート結果

- ・良くない。基本的考えが間違っている。
- ・論外
- ・照明が出しゃばりすぎ。花を主役に照明は裏方に徹した目立たぬデザインにすべし。
- ・照明の位置も下がってきて良い。まぶしいかもしれないが。メンテナンスは何か考えないといけない。使える場所は限られていると思うが。なかなか良い発想である。世の中には受けるかもしれない。ラジカセ的な成功を収めるかもしれない。花そのものには相当メンテナンスが発生するので、花ではなく、グリーンにする方法もある。また彫刻とセットとする方法もありうる。目線は非常によい。
- ・花壇に庭園灯をつけることでなぜいけないのか。
- ・厳しいことを言うとやはり方向性が違うのではないかと思う。
- ・「照明」と「花」は別でよいのでは。自動給水システム（タンク式）はよい。照明の必要があまり感じられない皮肉。花を美しく、かつ、イージーに映し出す、スパイク式の、安価の、美しいGOODデザインの照明器具開発に応用したら。
- ・開発の方向性に問題あり。
- ・限定された特殊なケースには有効かも。
- ・明かりの演色性に注意してください。運営がしっかりしているところで。
- ・一般の人の手で水をやれない場所（高速道路、屋上等）使うのではないか。時代の流れとしては人が手入りに参加する方にいっている。
- ・異業種融合型商品開発については評価できるが、デザイン面においてはあまり評価できない。花や緑はものではない。生命である。生命を育む、あるいは光らせる「もの」は生命と同等のレベルにまで心血を注いだデザインにしなければならない。良いものができたら2004年の静岡園芸博に出展してください。
- ・形があまりきれいではないのではないのか。メンテナンスが大変か。ストリートファニチュアがまた多くなって景観が混乱する。
- ・花の中あるいは鉢から光りとかしなないとムードがないのではないか。花のムードを持った光りを出す照明を考えた方がよいのでは。

- 
- ・虫が付いた場合や根ぐされした時、また植えかえなどの場合に対応しにくいのではないかと。花にしたの台があわない。壺（陶器）のような形にしてみたら。
  - ・花の咲いている期間は非常に短い。公共空間に使用する場合には、花よりも周辺環境との調和を優先するべきであろう。使用場所の提案を具体的にすることがある。
  - ・植物も夜は眠りたい。照明とは関係ないシステムとして考えるべき。エンジニアリングデザインの悪い例。
  - ・自然・エコという根底の視点からは、少しかけはなれたものであるが、この製品の可能性を言うのであれば、きわめて限定した場所・施設においてのみ、いわばコントロールされた環境装置・空間の中で意味を持つものとして、市場を見てほしい。パーソナルな商品として市場を考えればヒットか？ 一般的な街の中にこのような商品が増加することは疑問である（コントロールの限界、メンテナンスの限界）
  - ・公共空間に本当に使われると思っているのですか。花屋の店先には使うことがあるかもしれないが。照明と花と、一体どちらを売り込みたいのか。
  - ・植物の成長を ける、植物の寿命を長く維持すること（高演色光源の必要性は勿論だが）、光源（分光特性）を用いる研究としてはいかがか。電球形 FL の分光特性が最適とは思えない。
  - ・照明器具がかわっても、バスケットはみな同じよう。はっきりいって形のバランスがよくない。もっと形を考えて頂きたい。
  - ・リムセラ、sigro、花あかりとネーミングに統一感が全くないメーカーですね。今回ののもっともいいんじゃないかと思います。
  - ・協力をしたことはよいが足し算が複合効果をよんでいない。JUDI のメンバーのようなプロと相談した方がよい。
  - ・植物の生理的リズムを壊さないか。否定的な意見が多かったが、中途半端に終わっているからだ。もっと徹底的に追及したらヒット商品になるかも。地下街の利用等。
  - ・花と照明の組み合わせのアイデアはあるのかと思うが、それぞれの役割の相違を考えると良い組み合わせではないと思う。
  - ・花により照明の効果が妨げられないでしょうか。照明の目的は周囲を明るくすることでは。
  - ・鉄素材・電気・動力の他分野に渡っている貴社らしい製品と思います。主販路としては公共か民間ですか。原稿丸読みのプレゼンは少々残念でした。来年は宜しくお願いします。
  - ・花を公共にというのは悪くないと思う。花も今や寄せ植えの色や、単色にしぼるなど、色、形状などに工夫をこらしてまちづくりに生かそうという働きがあります。
  - ・花の色と光源の色、生態的な相性などを示したカタログにするとよい。花や緑が映える支柱の色を考えて。
  - ・方向性に疑問あり。
  - ・少しやりすぎと思う。照明とプランターは分離した方が景観になじみやすい。
  - ・花にも生命があるということですね。花をもてあそんでいるように思われないように気を付けて、頑張ってください。
  - ・花は花、灯は灯。コンシューマーが選択すること。人にとって好ましい灯がある。花にとってはそれに好ましい環境がある。
  - ・主役は花かあかりか。主役は花でしょう。このデザインではこの二つが相殺し合っていると思います。やっではならない商品開発の方向です。



---

会社名      ヨシモトポール株式会社

---

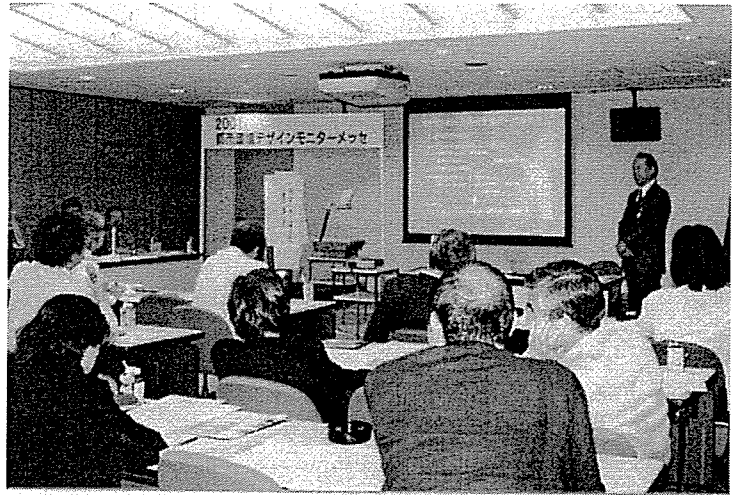
テーマ      畜産施設の環境への取組

所在地      〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-10-1

TEL          03-3214-1553

FAX          03-3212-1751

プレゼン  
担当者      海老原善郎 篠宮邦彦  
                 飯島秀雄



---

#### ◆アンケート結果

- ・楽しい話でした。未来農村の恐ろしさも感じました。
- ・景観とは何か、日本の風景を再度考えてほしい。美しく楽しい（見て働いて）畜産施設にはほど遠い。
- ・御社の環境エンジニアリングの先端性に驚かされました。
- ・施設に楽しさが無い。
- ・環境保全さらには育成もよく考えられた施設だと思います。さらに積極的に畜産をアピールするために、施設の色彩計画もお勧めします。環境・地域性に合わせた色彩もありますから。もちろん形状デザイン等も。
- ・都市環境デザインメッセになぜ「畜産施設」なのでしょう。テーマ選定に疑問を感じます。景観材推進に努力しておられる貴社だけに余計に残念です。来年は違うテーマを。
- ・都市環境デザインメッセと畜産施設のマッチングに違和感を感じたが、範囲を拡げる良い試金石であった。
- ・「豚に真珠」という言葉があるが、太陽や植物、花などと組み合わせると生態学的畜産施設を考えてほしい。
- ・あのヨシモトポールが、畜産施設をやっているとは知らなかった。デザインがいまいち。ヨシモトポールらしくない。
- ・個々の施設の姿、形を美しくしてほしい。これでは農場が美しくならない。（かつての工場そのものです）
- ・デザインメッセに何を期待したのですか。農村風景のことについてもっと理解をしてください。
- ・貴社の取り組む業務の内容を理解しました。確かに、ぶたの清掃費や資源の大切さが十分わかりました。動植物の循環型環境への幅広い提案や拡大を期待します。ただし、あまりに機械的、無機的な空間については大きな問題を感じます。
- ・農場の景観の、古い意味での近代化（工業化）を進展させるのは問題。労働環境の改善になっているのか。
- ・環境面が国の規制を基にシステムティックに技術開発が進められてきていることがよくわかる。しかし、農村の中の景観に関しては何の工夫も感じられない。施設全体のデザインを安価にできることを前提に検討したらおもしろいのでは。
- ・いくら清潔な畜舎にしてもこうせい剤をえさに入れて与えるような畜産方法では、人体に有害なアレルギー物質をもった豚肉になってしまう。
- ・ウインドレスの意味がよく分かりませんでした。人間の糞尿もリサイクルシステムとして事業化してくだ

---

さい。人プン事業部（まじめな話）

- ・非常に工業的で冷たい。施設の景観的な魅力がない。
- ・こんなことやっているとは知らなかった。飼料調達の問題にも取り組まれたらどうか。評価の目が変わった。働いている人も、豚も楽しいというような高度な取り組みに、向かっていく必要があるのではないか。環境は数値で測るものだけではない。安全・安心の上に美味・健康を考えるとさらに文化的な要素が。
- ・人が働く施設ではない方に行くのか。（人が働く空間・環境ではない）
- ・御社の別面を見て驚きました。緑産業との連携はどうでしょうか。我がランドスケープとしては堆肥と土壌改良があります。
- ・農村環境として要検討。
- ・環境リサイクルの取り組みは大変貴重。
- ・農村景観については本質的な論議が必要。（建物のデザイン、工場的すぎる）
- ・例：「畜産キット」を南米、アジア、アフリカ等の奥地へ送る。土地改良に貢献する。地球規模の食料生産に貢献する。（JAICA等と連携する）
- ・豚肉は大好きです。地元が来てほしくなるようなものだと良いと思いますが。
- ・あまりにシステムのすぎる。景観的にも工場。
- ・都市環境デザイン面で何を言ってほしいのか。
- ・農場の景観美化とはどういうことなのか。たんなる工場ではないか。非常に安っぽく見える。
- ・農村景観に配慮した施設デザインを望む。
- ・以外
- ・太陽光と糞尿によるバイオマス発電によるエネルギー再生システムが必要。景観性は再考必要。

---

会社名 岩崎電気株式会社

---

テーマ 光応用に依る環境整備

所在地 〒105-0014 東京都港区芝2-1-28

TEL 03-3769-8422

FAX 03-3769-2182

プレゼン 大谷 根岸 叶  
担当者 田中 佐藤



---

#### ◆アンケート結果

- ・新しい知識を学んで有意義でした。
- ・紫外線の効果はなかなかですね。
- ・御社の環境への取り組みに敬意を払います。照明メーカーの新しい方向を感じました。
- ・マイナス面をもっと勉強する必要あり。
- ・水を張ったような部分には効果的だと思います。堀などでも効果はあるのでしょうか。
- ・「紫外線」もこわいイメージがあります。
- ・光源メーカーであられる貴社の立場は理解しますが、やはり環境浄化は自然の力を活用するのが一番です。容易に「IT」という言葉を使うのは避けて頂きたい。「ハイブリッド灯」を積極推進した姿勢はどこに。
- ・処理コストがどの位かかるのでしょうか。どの位の水量まで対応できるのですか。
- ・紫外線ランプやオゾンランプの特徴を生かして、系統的に利用して水辺の環境整備にまとめ上げている。大変感心した。
- ・期待
- ・ピオトープでは必要ないかも。
- ・装置の規模・形はどの程度なのか。
- ・残留性がない光応用システムに期待したい。
- ・環境浄化の技術としては理解できるが、用途について十分配慮をお願いしたい。
- ・個人住宅の庭で使える小規模なシステムは可能か。
- ・水の浄化方式はいろいろあると思うが、処理量、コスト等は従来の方式に比べてどうか。基本的にはシステムが単純でよいと思う。
- ・川や海の水を人間の飲料水に変えられたらすごいと思いますが、防災上の緊急浄化装置とかでもよい。
- ・水がきれいになることはよいと思うが、どのような影響があるのかよくわからない。
- ・太古の地球環境や、NS逆転期には太陽光中のほとんどのさまざまな粒子や波動が生命環境に影響を与えた。突然変異の発生、種の死滅などを引き起こした。紫外線のみがその原因とは考えられないが、やはり何らかの作用を生命に対して持つ。その辺の影響のあり方を十分に研究してほしいと思う。

- 
- ・家庭用にも使えるものになるのですか。
  - ・信州で生産された花は発色が良いと言われています。紫外線の関係ではないでしょうか。
  - ・原理的によい。
  - ・新たな発想による期待が大きい。
  - ・環境との共生の点ですぐれた開発と考えられる。
  - ・専門的な部分はわかりにくいですが、街に水が増えてほしい。頑張ってください。
  - ・本当に安全性をチェックしてください。
  - ・紫外線ランプは利用法を間違えなければ大いに優良なものになる。
  - ・何かデメリットはないのか。あおこが発生しないということは良い面でもあるが、悪い面でもあるかもしれない。そういう視点を持つべき。
  - ・少しこわい

---

会社名 鹿島建設株式会社

---

テーマ ウェットコンクリート

所在地 〒107-8388 東京都港区元赤坂1-2-7

TEL 03-3746-7192

FAX 03-3746-7209

プレゼン 柵瀬信夫 巧刀欣弥  
担当者



---

#### ◆アンケート結果

- ・感服です。パネルよりもブロックにしてどこでも誰でも、使いやすいものにして普及できないでしょうか。
- ・今年も楽しませてもらった。来年もがんばって宜しくお願いします。
- ・素晴らしいプレゼンテーションありがとうございます。生物とコンクリートの研究、対外物に積極的に発表されることを希望します。
- ・大変良いものを開発してくれてありがとう。
- ・長く年月がたつとどうなるのでしょうか。中期（長期）に予測したシュミレーションを見せてほしいところ です。
- ・恒例の鹿島さんのプレゼン、今年も楽しく拝聴させて頂きました。素材として大変優れているのになかなか街で見かけないのは、ゼネコンさんの限界（大規模施設メイン）でしょうか。是非メーカーに情報開示をお願いします。
- ・今後利用拡大が進む技術だと思います。永年の開発努力に感心します。
- ・大変ユニークでおもしろい発表であった。1時間くらい話を聞きたかった。必要が商品を生む事例と思う。
- ・さすが。
- ・面白いです。
- ・境界ブロックなどの応用はどうだろう。
- ・普及に期待。
- ・説明はいつも楽しいです。おもしろい開発だと思う。
- ・ウェットコンクリートの性能は十分理解できました。個人的責任の問題、コンクリートのアツリの問題を責任とし完成されることを期待します。もう一つ、平板舗装にはもどらないように検討して下さい。
- ・カニ以外の生物の棲息は確認したのか。
- ・保水性と植物の関係をきちんと実験をした上で検討している点が良い。
- ・苦勞して金と時間をかけてカニをだまして何の意味があるのだらう。その時間、勞力（人手）と金があれば自然の石を使った方が良いと思う（輸入ものでもよい）
- ・日本の水辺が美しくなるようにがんばってほしい。

- 
- ・少なくとも、環境（自然）を重視する都市の部分、あるいは田園環境の部分で大いに活用することになるだろうから、施工技術、価格の低減などさらに研究を進めてもらいたい。
  - ・小河川（ドグ）等にもきめ細かく使いたい。
  - ・おもしろい時代になりましたね。ところで、生物（植物）が直接コンクリートに接した場合、アルカリ性の問題はないのでしょうか。
  - ・原理的によい。
  - ・毎年アイデアにあふれた開発が行われており、評価できる。特に、水辺環境への共生の方向性について高く評価したい。
  - ・毎度、感心しております。
  - ・面白いと思います。護岸に生物がもどると良いと思います。
  - ・なかなかすばらしい。がんばってください。
  - ・混入したセメントは腐らないのか。
  - ・うまい。
  - ・優秀な発明、製品。
  - ・水辺でやっているが、陸、山でもいけるか。コンクリートにコケやカビが生えるのは当たり前とみる。その意味で、コンクリートで緑（草）が生えるというのは面白い。擁壁でも実現できないか。

---

会 社 名 松下電工株式会社

---

テ ー マ Virtual Reality System 「まちづくり支援VRシステム」のご案内

所 在 地 〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048

T E L 06-6903-5581

F A X 06-6908-6254

プレゼン 村西耕爾 長濱龍一郎  
担当者 田中範夫



---

#### ◆アンケート結果

- ・ 伝え聞いていたシステムを実際に見せていただいて勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ このシステムは何が特徴でしょうか。パソコンの性能アップで予想されていることですか。
- ・ 面白い支援システムと評価します。コスト、データ容量等お聞きしたかったのですが。
- ・ 今後もっと伸びるのではないかな。
- ・ 検討資料として使いやすいと思います。一つのツールとして有効。
- ・ 評価方法などは別の方法と組み合わせるとよいと思います。晴天、曇天あるいは季節の変化などもできるのでしょうか。
- ・ Linux 的発想、大歓迎です。有能なソフトを一社独占で高価に売る、Microsoft 的発想はもう古いのではないのでしょうか。松下さんらしい懐の深さを感じます。これからのメーカーに必要なのは「競争」ではなく「協働」の発想と思います。
- ・ 一般の人へのプレゼンのわかりやすさはある。
- ・ 判断材料を豊富化する道具として有用。
- ・ 限界（リアリティの表現とかデータ作成の困難さなど）も一緒に示すべき。
- ・ 道具としては面白そう。しかし、使い方も問題、道具提供側からの示唆も必要。
- ・ 対住民説明のツールとしては有用であると思う。
- ・ 市民参加の手の込んだプロセスが必要なのではないか。安易に結論を得られる方法になってしまう。
- ・ ヴァーチャルリアリティの定義・範囲について明確に示してください（リアルさ、空間化、動画、操作性 CAD との関係を含め）1/1 のリアリティと VR との相異点に配慮を。
- ・ VR 本来の定義とは異なる。VR のデータを使った Interactive CAD System ではないか。ゴーグル型ディスプレイへの出力をなぜ使わないのか。
- ・ 非常にわかりやすく、よいシステムと思う。
- ・ ゲーム性を持ったもの（たとえばロールプレイング）にすれば、万人が楽しくまちづくりをシミュレートすることができるのではないかな。
- ・ その場で作ったものを入れ込めるとおもしろいと思う。

- 
- ・いくらかかるのか。かきかえの小回りはきくのか。
  - ・一見よさそうだが、本当に使えるかももう少しききたい。
  - ・協調設計はこれからの街づくりに絶対的に必要になる。この時大切になるのは、設計が行われる時点の相異が存在する場合があることである。これを解決していくためには安価・安定・確実にストックしてパブリックに蓄積されねばならないことだろう。こうしたストックを行政やまちづくりNPOが持てるような普及が必要と思う。
  - ・ワークショップ、デザイン会議等のトータルワークへの対価の中で、どのような費用と比較できるかを示すと有意性が高まるのではと思う。
  - ・なっとく。ランドスケープからは緑の質感の表現の研究をお願いします。
  - ・すぐれた道具だと思う。
  - ・新たなツールとして大変期待できる。ただし、使う場面、使う機会が重要である。
  - ・すごいとは思いますが、アトリエ事務所として緑が少ないと感じました。
  - ・コンピューターでなく手で画を描いてメシを食っている身としては困ったものだなあという感じ。
  - ・ひとつのツールとしては極めて有効。
  - ・有効なツールである。
  - ・便利な道具（ツール）である。
  - ・やはりヴァーチャルリアリティという言葉に引っかかりを感じる。ネーミングの工夫が要る。



## 2001都市環境デザインモニターメッセ参加会員

氏名	勤務先・住所	TEL/FAX
天野 光一	日本大学理工学部社会交通工学科	
飯塚 矩規	岩崎電気株式会社技術開発室	
伊藤 登	株式会社プランニングネットワーク	
伊藤 洋	有限会社CAU・プランニング	
井上 正良	株式会社アーバンデザインコンサルタント	
井口 勝文	京都造形芸術大学	
江川 直樹	株式会社現代計画研究所大阪事務所	
大塚 守康	株式会社ヘッズ	
大野 功	東芝ライテック株式会社	
大橋 史	PG&Associates	
岡田 秀夫	株式会社住軽日軽エンジニアリング	
折井 徹	株式会社キャストデザイン研究所	
柏原 幸雄	黒崎播磨株式会社 景観材事業部	
加藤 源	株式会社日本都市総合研究所	
金谷 啓紀	建築都市デザイン研究所	
川井 由寛	S L Aスタジオランドジャパン株式会社	
工藤 勉	ヨシモトポール株式会社営業部	
窪田 陽一	埼玉大学工学部建設工学科	
熊澤 雄一	合資会社熊沢生活デザイン研究所	
倉田 直道	株式会社アーバンハウス都市建築研究所	

## 2001都市環境デザインモニターメッセ参加会員

氏 名	勤務先・住所	TEL/FAX
菰田 朋子	株式会社エーアンドエーマテリアル	
齊藤 治夫	株式会社因幡電機製作所	
佐々木 政雄	株式会社アトリエ74 建築都市計画研究所	
澤田 晴委智郎	株式会社澤田造景研究所	
繁野 舜	株式会社US計画研究所	
重山 陽一郎	高知工科大学	
杉山 朗子	株式会社日本カラーデザイン研究所	
曾根 幸一	株式会社曾根幸一・環境設計研究所	
高波 和由	株式会社キャストク	
高橋 志保彦	高橋志保彦建築都市デザイン事務所/神奈川大学工学部建築学科	
玉田 孝二	株式会社都市環境研究所九州事務所	
地福 由紀	株式会社アトリエ福	
辻井 順	有限会社ホルス計画室	
中居 敬一	株式会社中居敬一都市建築設計	
中井川 正道	株式会社GK設計 都市環境設計部	
長崎 駿二郎	株式会社竹中工務店	
中嶋 猛夫	女子美術大学デザイン科環境計画	
長沼 眞智子	有限会社エル・グレコ	
中野 恒明	株式会社アプル総合計画事務所	
中村 豊四郎	アール・イー・アイ株式会社	

## 2001都市環境デザインモニターメッセ参加会員

氏名	勤務先・住所	TEL/FAX
成瀬 恵宏	株式会社都市設計工房	
南條 洋雄	株式会社南條設計室	
南條 道昌	株式会社都市計画設計研究所	
西沢 健	株式会社G K設計	
林 茂樹	林建築事務所	
笛木 坦	イビデングリーンテック株式会社	
府川 充	株式会社G K設計地域計画部	
丸茂 弘幸	関西大学工学部建築学科	
宮迫 勇次	株式会社荒谷建設コンサルタント	
森 俊偉	金沢工業大学建築学科	
八木 健一	八木造景研究室	
山名 清郷	日本技術開発株式会社	
横川 昇二	株式会社横川環境デザイン事務所	
吉田 慎悟	株式会社カラープランニングセンター	
吉田 八郎	アイエルビー株式会社	
和田 英雄	株式会社都市総合計画	